

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-162058

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月19日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60

13/00

識別記号

3 5 1

F I

G 0 6 F 15/21

13/00

Z

3 5 1 E

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願平8-253464

(22) 出願日

平成8年(1996) 9月25日

(71) 出願人 596139421

コスモテック特許情報システム株式会社
東京都港区芝3丁目22番7号

(72) 発明者 小笠原 慶三

東京都港区芝3丁目22番7号 株式会社コ
スモテック販売内

(72) 発明者 山内 順一

千葉県流山市宮園2-6-3

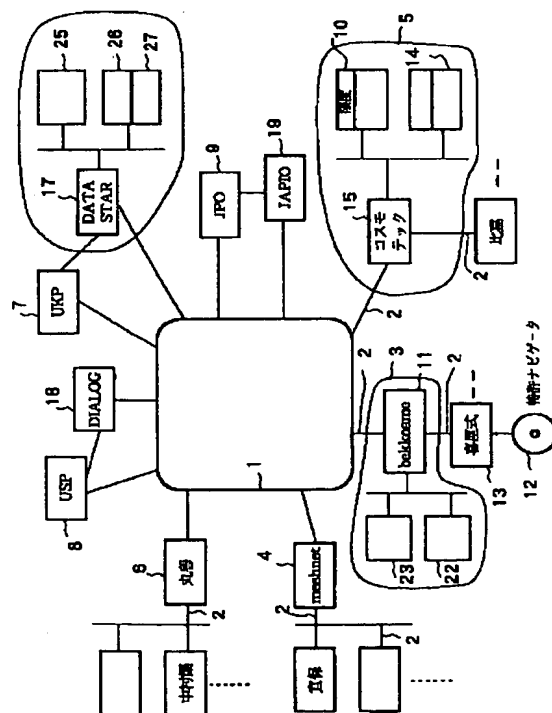
(74) 代理人 弁理士 八嶋 敬市

(54) 【発明の名称】 インターネット上の情報収集方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 情報提供の際の料金回収が保証されるようにする。

【解決手段】 一のプロバイダは、情報提供サーバに対し、有料情報とを取り出した際の料金を支払うことを登録するとともに、他方のプロバイダに対し、他方のプロバイダが管轄するユーザから料金を回収することを互いに登録して、料金管理サーバとなる。一般のユーザがインターネットを介し情報提供サーバに有料情報を請求すると、情報提供サーバは、料金管理サーバにアクセスするように案内し、料金管理サーバから得られたメールアドレスに基づき、料金管理サーバが他方のプロバイダを特定してアクセスし、会員登録を確認して料金の回収業務が発生したことを通知し記録する。ユーザは、料金管理サーバにより、情報提供サーバに接続され、ユーザがインターネットを介し、情報提供サーバから有料情報とを取り出す。料金管理サーバが特定された他方のプロバイダに対し所定の料金明細を送り、ユーザに通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続され科学技術に関かんする一般情報と有料情報とを提供する複数の情報提供サーバと、インターネットへの接続業務を業とする複数のプロバイダと、これらプロバイダに登録しそこを介してインターネットに接続し、前記情報提供サーバから情報を入手する複数のユーザとからなるインターネット上の情報収集方法において、

一のプロバイダは、前記情報提供サーバに対し、前記有料情報を取り出した際の料金を支払うことを互いに登録するとともに、他方のプロバイダに対し、他方のプロバイダが管轄するユーザが前記有料情報を取り出した際の料金を回収することを互いに登録して料金管理サーバとなる段階と、

一般のユーザがインターネットを介し前記情報提供サーバに有料情報を請求したら、情報提供サーバはこのユーザに対し前記料金管理サーバにアクセスするように案内する段階と、

このユーザが前記料金管理サーバに接続すると、前記料金管理サーバがこのユーザに対し登録先のメールアドレスに問い合わせる段階と、

得られたメールアドレスに基づき料金管理サーバが他方のプロバイダを特定してアクセスし、会員登録を確認して料金の回収業務が発生したことを通知し記録する段階と、

この料金管理サーバによりこのユーザは前記情報提供サーバに接続され、このユーザがインターネットを介し前記情報提供サーバから有料情報とを取り出す段階と、

有料情報を取り出した後に前記情報提供サーバから前記料金管理サーバに料金明細が送られる段階と、

前記料金管理サーバが特定された他方のプロバイダに対しこの料金明細を送り、かつこのユーザに通知する段階とからなることを特徴とするインターネット上の情報収集方法。

【請求項2】 インターネットに接続され科学技術に関かんする一般情報と有料情報とを提供する複数の情報提供サーバと、インターネットへの接続業務を業とする複数のプロバイダと、これらプロバイダに登録しそこを介してインターネットに接続し、前記情報提供サーバから情報を入手する複数のユーザとからなるインターネット上の情報収集方法において、

一のプロバイダは、前記情報提供サーバに対し、前記有料情報を取り出した際の料金を支払うことを互いに登録して料金管理サーバとなる段階と、

この料金管理サーバは自己登録のユーザが、インターネットを介し前記情報提供サーバに有料情報を請求したら、料金の回収業務が発生したことを記録する段階と、このユーザがインターネットを介し前記情報提供サーバから有料情報を取り出す段階と、

有料情報を取り出した後に、前記情報提供サーバから前

記料金管理サーバに料金明細が送られる段階と、

前記料金管理サーバがこの料金明細をこのユーザに通知する段階とからなることを特徴とするインターネット上の情報収集方法。

【請求項3】 インターネットに接続され科学技術に関かんする一般情報と有料情報とを提供する複数の情報提供サーバと、インターネットへの接続業務を業とする複数のプロバイダと、これらプロバイダに登録しそこを介してインターネットに接続し、前記情報提供サーバから情報を入手する複数のユーザとからなるインターネット上の情報収集方法において、

一のプロバイダは、前記情報提供サーバに対し、前記有料情報を取り出した際の料金を支払うことを互いに登録するとともに、他方のプロバイダに対し、他方のプロバイダが管轄するユーザが前記有料情報を取り出した際の料金を回収することを互いに登録して料金管理サーバとなる段階と、

端末を通信回線によりその登録先のプロバイダに接続するダイヤルプログラムと、次にこの端末をインターネットを介し前記料金管理サーバに接続するプログラムと、この料金管理サーバのホームページで科学技術情報に関する選択項目を主にまとめて表示するブラウザプログラムと、情報分野別に選択項目を編集する編集プログラムとからなる科学技術検索ナビゲータをユーザが前記端末にロードする段階と、

このユーザの端末が前記ダイヤルプログラムにより登録先のプロバイダに接続する段階と、

この端末が前記プログラムによりインターネットを介し前記料金管理サーバに接続する段階と、

30 前記料金管理サーバがこのユーザに対し登録先のメールアドレスに問い合わせる段階と、

得られたメールアドレスに基づき料金管理サーバが他方のプロバイダを特定してアクセスし、会員登録を確認して料金の回収業務が発生したことを通知し記録する段階と、

料金管理サーバのホームページ上の前記まとめられまたは編集された選択項目に従って前記情報提供サーバを指定する段階と、

40 この料金管理サーバによりこのユーザは前記情報提供サーバに接続され、このユーザがインターネットを介し前記情報提供サーバから有料情報とを取り出す段階と、有料情報を取り出した後に前記情報提供サーバから前記料金管理サーバに料金明細が送られる段階と、

前記料金管理サーバが特定された他方のプロバイダに対しこの料金明細を送り、かつこのユーザに通知する段階とからなることを特徴とするインターネット上の情報収集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

50 【発明の属する技術分野】この発明は、インターネット

3

上の情報収集方法に関し、詳しくはインターネットを利用して広く世界の技術検索を行う情報収集方法に関する。

【0002】

【従来の技術】世界の技術検索を行う情報収集方法には、専用の通信回線を利用する以下のものがある。まず、特許データについては、データスター社：Data Starが 英国特許庁：UK Patent Office7のデータを提供している。また、ダイヤログ社：DIALOGが、米国特許庁：US Patent Officeの特許、実用新

案、意匠、商標に関する公報を情報提供している。
【0003】データスター社とダイヤログ社は日本に丸善や帝人等の代理店があり、日本のユーザはこれら丸善や帝人等の代理店に加入することにより、IDと PASSWORDを受領し、国際電話回線を使用して、特許情報を有料にて入手している。また日本特許庁の情報は特許情報機構：JAPIOのPATOLISに加入することにより通信回線によるオンラインや複写物として有料にて得られる。一般の科学技術情報は、各種の学会や、科学技術情報提供法人から複写物として有料で得られる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来では、国際電話回線を使用する情報収集では通信料が高価になり、またPATOLISではいちいち加入手続きを予めしなければならなかった。インターネットを利用する情報収集では情報の提供者は、利用者に対して料金回収が保証されないもので、必要な情報が提供されていないのが実状である。この発明では、インターネットを利用して、情報の提供者は料金回収が保証されて、公開できる全ての情報提供し、利用者は必要な情報をいつでも収集できるような方法を提供することを目的にしている。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は、インターネットに接続され科学技術に関かんする一般情報と有料情報とを提供する複数の情報提供サーバと、インターネットへの接続業務を業とする複数のプロバイダと、これらプロバイダに登録しそこを介してインターネットに接続し、前記情報提供サーバから情報を入手する複数のユーザとからなるインターネット上の情報収集方法を利用する。一のプロバイダは、情報提供サーバに対し、有料情報を取り出した際の料金を支払うことを互いに登録するとともに、他方のプロバイダに対し、他方のプロバイダが管轄するユーザが、有料情報を取り出した際の料金を回収することを互いに登録して、料金管理サーバとなる。一般のユーザがインターネットを介し情報提供サーバに有料情報を請求したら、情報提供サーバはこのユーザに対し料金管理サーバにアクセスするように案内する。このユーザが料金管理サーバに接続すると、料金管理サーバがこのユーザに対し登録先のメールアドレスに

4

を問い合わせる。得られたメールアドレスに基づき料金管理サーバが他方のプロバイダを特定してアクセスし、会員登録を確認して料金の回収業務が発生したことを通知し記録する。この料金管理サーバによりこのユーザは情報提供サーバに接続され、このユーザがインターネットを介し情報提供サーバから有料情報とを取り出す。有料情報を取り出した後に情報提供サーバから料金管理サーバに料金明細が送られ、情報提供サーバが特定された他方のプロバイダに対しこの料金明細を送り、かつこのユーザに通知する。料金管理サーバが情報提供サーバに対し課金を保証し、他方のプロバイダには登録会員に対する集金を依頼することにより、インターネット上の情報収集が成立する。

【0006】

【発明の実施の形態】

実施の形態1. 以下この発明を図面に基づいて説明する。図7はインターネット上の構成を示す図である。

【0007】以下の説明では、インターネット1の接続プロバイダ法人をイロハ社、ニホヘ社、コスモテック社等と称し、インターネット1の加入者を比嘉、喜屋武、宜保、中村渠等に設定する。

【0008】図7では科学技術の特許に要点を絞ったインターネット1の構成を示す。日本国特許庁9、英国特許庁：UK Patent Office7、米国特許庁：US Patent Office8等、と日本特許情報機構：JAPIO19、DataStar社17、DIALOG社18等は、インターネット11に直接または所属プロバイダを介し接続されている。

【0009】インターネット1上に接続された日本特許情報機構：JAPIO19は、日本国特許庁9の委託を受け、日本国の特許、実用新案、意匠、商標に関する公報を情報提供する。またデータスター：DataStar17社は、英国特許庁：UK Patent Office7の、ダイヤログ：DIALOG社18は、米国特許庁：US Patent Office8からそれぞれ代理を受けて、その特許、実用新案、意匠、商標に関する公報をインターネット1上に情報提供する。日本特許情報機構：JAPIO19、DataStar社17、DIALOG社18等は、主に国際特許情報の提供機構（IP）であり、情報提供サーバとなる。

【0010】国際通信網と各国内通信網で結ばれたインターネット1には、接続業務を業とするプロバイダの例えば、ベッコアメ（bekkoame）3、メッシュネット（meshnet）4、コスモテック社5、丸善社6等が接続されている。

【0011】更に、例えばプロバイダのベッコアメ（bekkoame）3には一般ユーザ10の喜屋武等が、メッシュネット（meshnet）4には宜保等が、コスモテック社5には比嘉特許事務所等が、丸善社6には丸々社等が会員としてそれぞれ加入し登録されている。従って、

5

一般ユーザの喜屋武等や、宜保等や、比嘉特許事務所等や、その他丸々社等は所属プロバイダを介しインターネット1に接続可能である。

【0012】プロバイダのベッコア (bekkoame) 3と会員の喜屋武との契約では最小限、プロバイダに対しユーザの氏名：喜屋武太郎とクレジットカードのデータが登録され、インターネット1の使用料を会員の喜屋武からプロバイダのベッコア (bekkoame) 3に、このクレジットカードにより支払いが、例えば毎月行われる。

【0013】インターネット1のプロバイダであるコスモテック社5は、国際特許の情報提供機構である日本特許情報機構：J A P I O 19、DataStar社17、DIALOG社18等と特許検索データベース利用契約を締結し、特許プロバイダとなっている。

【0014】これら報提供機構：J A P I O 19等と特許プロバイダのコスモテック社料金管理サーバ5との間のデータベース利用契約内容は以下の通りである。例えば、日本特許情報機構J A P I O 19等は、コスモテック社5にインターネット1を利用した特許データベースを有料で使用させる。

【0015】コスモテック社5は一般ユーザからの要請により、J A P I O 19等の特許データベースをアクセスし、検索したデータを当該ユーザにのみ渡す。一般ユーザが誰であるかを問わず、日本特許情報機構J A P I O 19等には、コスモテック社5が利用料金や、使用料を代表して支払う。かくして特許プロバイダのコスモテック社5は料金管理サーバとなる。

【0016】一方、他のプロバイダのベッコアメ (bekkoame) 3、メッシュネット (meshnet) 4、丸善社6等は、国際特許の情報提供機構である日本特許情報機構J A P I O 19、DataStar社17、DIALOG社18等と何らの特別の契約を持たない、インターネット1の一般プロバイダとする。

【0017】次に、特許プロバイダのコスモテック社5は、他の一般プロバイダ例えば、ベッコアメ (bekkoame) 3、メッシュネット (meshnet) 4、丸善社6等との間で下記の契約を締結する。ベッコアメ (bekkoame) 等の所属会員、喜屋武等から、インターネット1特許検索の要請があれば、メールアドレスを確認する問い合わせができる。当該プロバイダのベッコアメ (bekkoame) 3は、喜屋武等の会員登録が存在するのか、且つ有効かどうかを返答する。

【0018】コスモテック社5は、会員喜屋武等に関するインターネット1上の特許検索の料金をベッコアメ (bekkoame) 3に請求できる。プロバイダのベッコアメ (bekkoame) 3、当該会員の喜屋武等の登録クレジットカードに特許データベースの使用料を請求できる。

【0019】プロバイダのベッコアメ (bekkoame) 3は、所定の手数料を差し引いた後に、特許データベー

6

スの使用料を、コスモテック社5に支払う。コスモテック社5は所定の手数料を差し引いた後に、特許データベースの使用料を国際特許情報提供機構のJ A P I O 19等に支払う。

【0020】コスモテック社5の限度額記憶部10は、特許データベースの使用料の1回アクセスでの最大料金を格納する。サーバ15の演算装置は使用料累計装置の料金と、最大料金とを比較し、使用料金が最大料金以上になると、“今回1回の使用料金が限界額になりました”と警報をユーザに送り画面に表示し、スピーカから出力して通知した後に接続を強制的に解除する。

【0021】コスモテック社5はインターネット1に特許検索のホームページを開設しており、インターネット1のYahoo!等の検索画面で“特許”や“PATENT”のキーワードで検索するとコスモテック社5がリストアップされる状況にある。

【0022】図7の構成と図5、図6のフローチャートに従って動作を説明する。ステップS1で、ユーザの喜屋武が特許ナビゲータ、検索ソフトのフロッピーディスクFDや光ディスクCD-ROM12をディスクドライバにかけて、特許検索プログラムを情報処理装置の端末13にロードする。この特許ナビゲータはダイヤルプログラムと特許検索ソフトから構成されている。

【0023】ステップS2では、特許ナビゲータが起動すると、ダイヤルプログラムは喜屋武の情報処理装置、例えばパソコン13を通信回線2を介しプロバイダのベッコアメ (bekkoame) 3に接続し、プロバイダは、所定のプロトコル実行の後、喜屋武の端末13のパソコンをインターネット1に接続する。

【0024】次にステップS3では、特許検索ソフトが自動的に立ち上がり、予め登録されている(ブックマークやホットリストに相当)コスモテック社5のWebアドレスに、インターネット1上でアクセスし、コスモテック社5のホームページが、図1のように喜屋武のパソコン13画面に現れる。

【0025】このホームページではコスモテック社5の会社案内とともに、「特許検索」という特許ブラウザ、閲覧ソフトが選択項目として大きく表示される。

【0026】ステップSで4で「特許検索」を選択すると、図2に示すように、日本国特許庁、英国特許庁：UK Patent Office、米国特許庁：US Patent Office等の国家機構 (Government)と、日本特許情報機構J A P I O、DataStar社、DIALOG社等の特許情報提供会社や法人名、及び特許検索の「コスモテック社」と「認証要求」(後述する)が選択項目として、表示される。

【0027】以下、説明上図では日本語で示すが、インターネット1上の表示では、日本語だけでなく国毎に英語、フランス語、ドイツ語等で表示される。

【0028】ステップS5で、英国特許庁：UK Paten

7

t Office7を選択すると、図3のように、喜屋武のパソコン13にインターネット1上で英国特許庁：UK PatentOffice7のホームページが表示される。このホームページでは、無料の一般情報と有料の公報コピーサービスとが、選択項目として大きく表示される。

【0029】この画面では、無料の一般情報の枝では、英国特許庁：UK Patent Office7の構成や組織の各部の担当者名、有料サービスの受け方等の説明が得られ、一方有料の公報コピーサービスの枝では、英国特許庁：UK Patent Officeに代わって公報を提供するData Star社17にアクセスするようとの表示がされる。

【0030】ステップS6で、有料のData Star社17を選択すると、図4のようにこの会社の案内、社長名、損益等とともに、有料の公報コピーサービスには“コスモテック社5から認証を得て下さい”と表示し、コスモテック社5を選択項目としている。

【0031】ステップS7で、喜屋武の端末13が、図4の画面からコスモテック社5を選択すると、図2と同じコスモテック社5提供の「特許検索」ページが再度現れる。今度は、喜屋武の端末13は、数ある選択項目、即ち日本国特許庁、英国特許庁：UK Patent Office、米国特許庁：US Patent Office等と、日本特許情報機構J A P I O、Data Star社、D I A L O G社等、及び「認証要求」のなかから、ステップS7で迷わず「認証要求」を選択する。

【0032】ステップS8で、コスモテック社5のサーバ15は、喜屋武の端末13が会員であるかどうかをそのドメインネーム例えば、Domain Name “xxxxxx.or.jp”を調べる。

【0033】会員でなければステップS9に進み、にメールアドレスを喜屋武の端末13に問い合わせる。喜屋武が端末13に自己のメールアドレス“yyy@bekkoame.or.jp”等を入力して送信すると、コスモテック社5のサーバ15は喜屋武のサーバ（プロバイダ）がベッコアメ（bekkoame）3であることを知る。

【0034】コスモテック社5のサーバ15は、喜屋武の画面には“しばらくお待ち下さい”と表示し、ステップS10で、ベッコアメ（bekkoame）3に、喜屋武が所属会員かどうかの確認問い合わせをする。ベッコアメ（bekkoame）3のサーバ11は、コスモテック社5に喜屋武等の会員登録が存在し、且つ有効かどうかを返答する。

【0035】ユーザ喜屋武の会員証が有効であれば、コスモテック社5のサーバ15は、喜屋武の端末13に“検索料金はベッコアメ（bekkoame）3経由で請求します”と表示し、インターネット1上の特許検索を受け付け、ステップS11では、国際特許情報提供機構のData Star社17にユーザ喜屋武を接続する。

【0036】Data Star社17のサーバでは、契

8

約時に知得しているので、管理装置25に予めコスモテック社5のドメインネーム例えば、Domain Name “xxxxxx.or.jp”を登録している。

【0037】Data Star社17のサーバは、インターネット1から特許検索の要求を受けると、ステップS12で検索要求元のドメインネーム、Domain Name が管理装置25にあるかどうかを調べる。

【0038】登録があれば、ステップS13に進み、契約に従って、Data Star社17のサーバは、特許データベース26を解放する。そこでユーザ喜屋武の端末13はベッコアメ（bekkoame）3、コスモテック社5、インターネット1経由で特許データベース26を検索する。

【0039】ここで、Data Star社17とユーザ喜屋武とのインターネット1上の実際の特許検索の一例を下記に示す。

検索対象：特許

期間年月：1990/1-1995/10

キーワード：GPS、車、地図

発明者：山田 正

出願人：東芝

【0040】これらの文字は、説明上日本語で示したが、国際特許情報提供機構、Data Star社17の場合は英語である。Data Star社17のサーバは特許データベース26にアクセスし、該当する特許を見つけ、公報番号と件数を表示する。ステップS14では、当該公報のコピー要求があれば、公報コピーをインターネット1及びコスモテック社5のサーバ15を介し喜屋武の端末13に送る。喜屋武の端末13では公報コピーをFD等に記録し、印字装置で印刷する。

【0041】またステップS13、14ではData Star社17は科学技術文献と雑誌のデータベース27も取り扱っているので、喜屋武の端末13はその他の技術情報も要求できる。

技術検索の例

検索対象：一般文献、雑誌

期間年月：1990/1-1995/10

キーワード：GPS、車、地図

著者：山田 正

出版社、人：東芝出版

と入力して論文名、雑誌名、執筆者名等、情報が得られる。

【0042】ステップS15では、検索が終了して、Data Star社17のサーバは、喜屋武の端末13の画面に、日時とメールアドレスと利用料金とを表示するとともに、自局の管理装置25に記録する。同時にコスモテック社5のサーバ15も、管理装置14に日時とメールアドレスと利用料金とを記録する。

【0043】ステップS16では、インターネット1が終了する以前に、コスモテック社5のサーバ15は、管

理装置14の日時とメールアドレスと、利用料金に手数料を上積みした利用料金とを請求書のデータとし、ベッコアメ3へデータを送る。

【0044】ステップS17では、プロバイダのベッコアメ3は、取り扱い手数料を上積みした利用料金を、喜屋武のアカウントの固定費に追加し、月末にユーザの喜屋武へ請求書を送る。そして喜屋武の端末13のインターネット1上での技術検索は終了する。

【0045】後日、ベッコアメ3は、ユーザ喜屋武の登録クレジットカードから利用料金を受領し、ベッコアメ3はコスモテック社5に、契約に従い所定の方法で請求された料金を支払う。コスモテック社5はDataStar社17に、契約に従い所定の方法で請求された料金を支払う。

【0046】ステップS12で検索要求元のドメインネーム、Domain Name が、管理装置25に登録がないと、ステップS18に進み、“特許公報は提供できません”とインターネット1からコスモテック社5を介し喜屋武の端末13に通知し画面に表示する。その後、DataStar社17のサーバは、喜屋武の端末13との接続を解消する。

【0047】さて、一般プロバイダ、例えばmeshnet 会員の宜保が、特許検索を行う場合を説明する。この宜保は特許ナビゲータ、検索ソフトのフロッピーディスクFD12を持たない一般のインターネット1のユーザである。まず、ステップS20で宜保はmeshnet にアクセスし、インターネット1接続する次に、ステップS21では、インターネット1上の“Yahoo!”等の検索画面で“特許”や“PATENT”をキーワードを入力して図2の画面を得る。

【0048】図2の画面は、日本国特許庁、UK Patent Office、US Patent Office等の国家機構（Government）と、JAPIO、DataStar社、DIALOG社等の特許情報提供会社や法人名、及び特許検索の「コスモテック社」と「認証要求」（後述する）が選択項目として、表示される。

【0049】ステップS22で、図2の画面で、特許検索の「コスモテック社」を選択すると、ステップS7に進む。後の動作は、前記ステップS8からステップS17までと同じであり、メールアドレスが例えば、000@mx.xd.meshnet.or.jpに変更され、確認先および料金請求先が別のプロバイダになる。

【0050】次に、図6のステップS8で、ユーザの比嘉が、自局会員であれば、ステップS9とステップS10の「認証請求」等が省略され、ステップS23に進む。即ち、ステップS8で、サーバ15は、比嘉の端末がドメインネームの“xxxxxx.or.jp”であることから自明である。

【0051】ステップS23では、コスモテック社5のサーバ15は、比嘉の端末に“検索検索料金は登録クレジットカードに追加請求します”と表示する。そして、ステップS11に戻り、インターネット1上の特許検索を受け、国際特許情報提供機構のDataStar社17にユーザ比嘉を接続する。後の動作は、自社になり、前記ステップS11からステップS17までと同じである。

【0052】この発明の特許ナビゲータを使用すれば、どのユーザも迷うことなく、必要な技術文献、全世界中の文献に到達できる。また、国際特許情報提供機構や情報提供会社では、料金回収を安心して料金管理サーバのプロバイダに任して、情報を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインターネット上の情報収集方法を説明する料金管理サーバのホームページの表示例の図である。

【図2】本発明のインターネット上の情報収集方法を説明する特許検索前のブラウザ画面の表示例の図である。

【図3】本発明のインターネット上の情報収集方法の情報提供機構のホームページの表示例の図である。

【図4】本発明のインターネット上の情報収集方法の民間情報提供会社のホームページの表示例の図である。

【図5】本発明のインターネット上の情報収集方法を説明するフローチャートの主要部である。

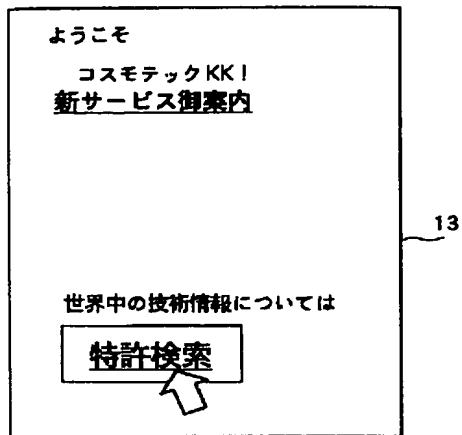
【図6】本発明のインターネット上の情報収集方法を説明するフローチャートの他の部分である。

【図7】本発明のインターネット上の情報収集方法を実地するネットワークの全体構成を示す図である。

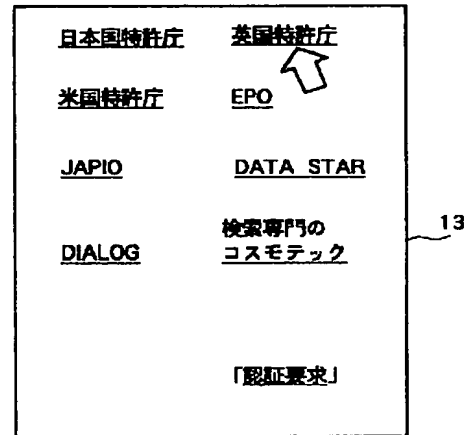
【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 通信回線
- 3 ベッコアメ（bekkoame）
- 4 メッシュネット（meshnet）
- 5 コスモテック社
- 6 丸善社
- 7 英国特許庁：UK Patent Office
- 8 米国特許庁：US Patent Office
- 10 限度額記憶部
- 11、15 サーバ
- 12 特許ナビゲータ
- 13 端末（ユーザ）
- 14、25 管理装置
- 17 データスター：DataStar社
- 18 ダイアログ：DIALOG社
- 19 日本特許情報機構：JAPIO
- 26 特許データベース
- 27 技術文献・雑誌データベース

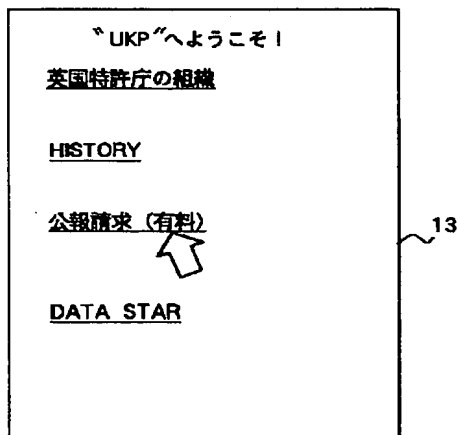
【図1】



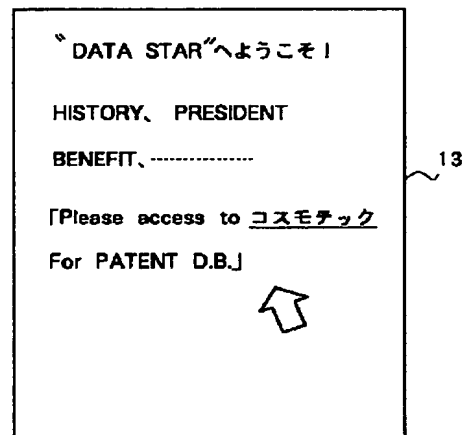
【図2】



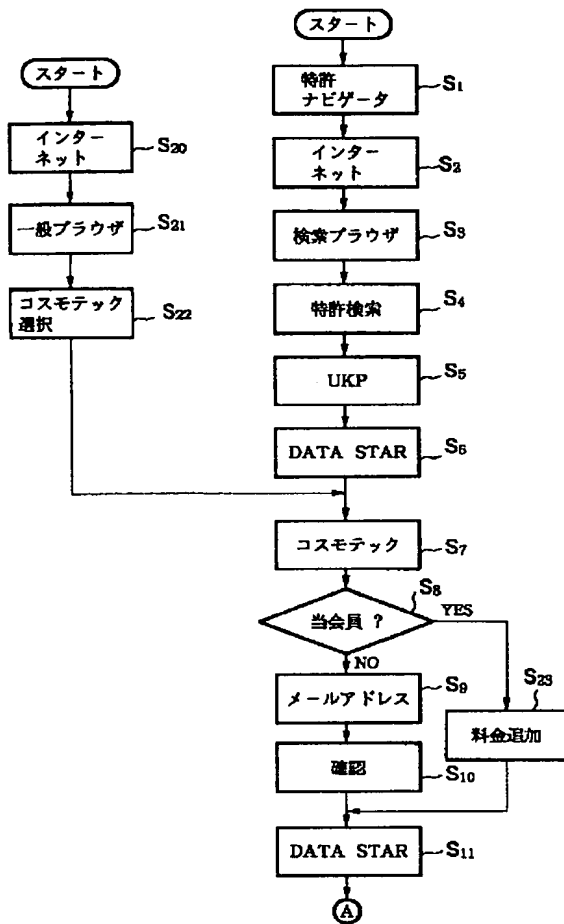
【図3】



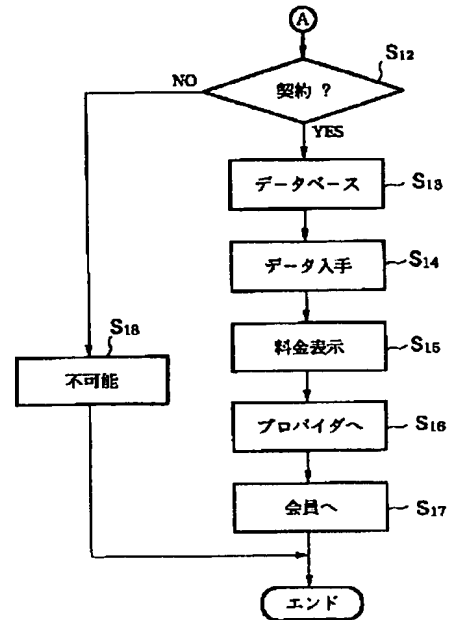
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

